

八幡浜市内水ハザードマップ 【公共下水道区域内】

1. 説明文

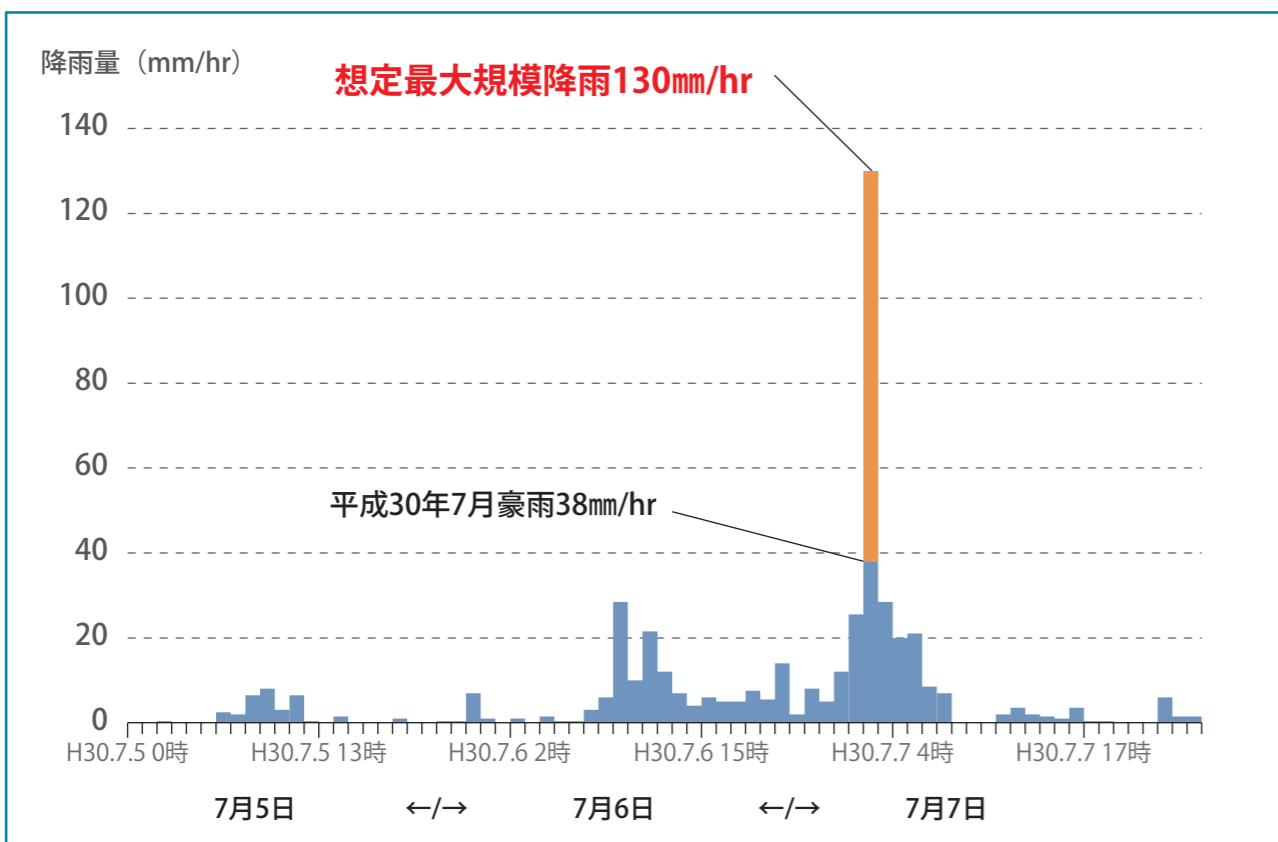
- (1) この図は、八幡浜市内において水防法の規定に基づく想定最大規模降雨(1時間雨量130mm)が発生した場合に内水浸水が想定される範囲や深さを示した図面です。
- (2) この図は、想定最大規模降雨(1時間雨量130mm)に対して令和6度末時点の水路・ポンプ場等の下水道排水施設等によって排水しきれなくなった場合の内水氾濫時における浸水状況を雨水流出解析に基づき想定したものです。
- (3) この浸水想定において、河川の氾濫及び高潮等による浸水は考慮していません。ただし、河川や海域の境界では、河川の増水や高潮による水位上昇を考慮し、下水道排水施設等の水はけが悪化した場合の内水浸水を想定しています。
- (4) 雨の降り方、河川や海域の水位上昇等の条件によっては、雨水出水浸水想定区域内で着色されていない箇所においても浸水が発生するなど、実際の浸水状況と異なる場合があります。
- (5) 八幡浜市公共下水道の全体計画区域(雨水)が浸水想定の対象区域となります。

2. 基本事項

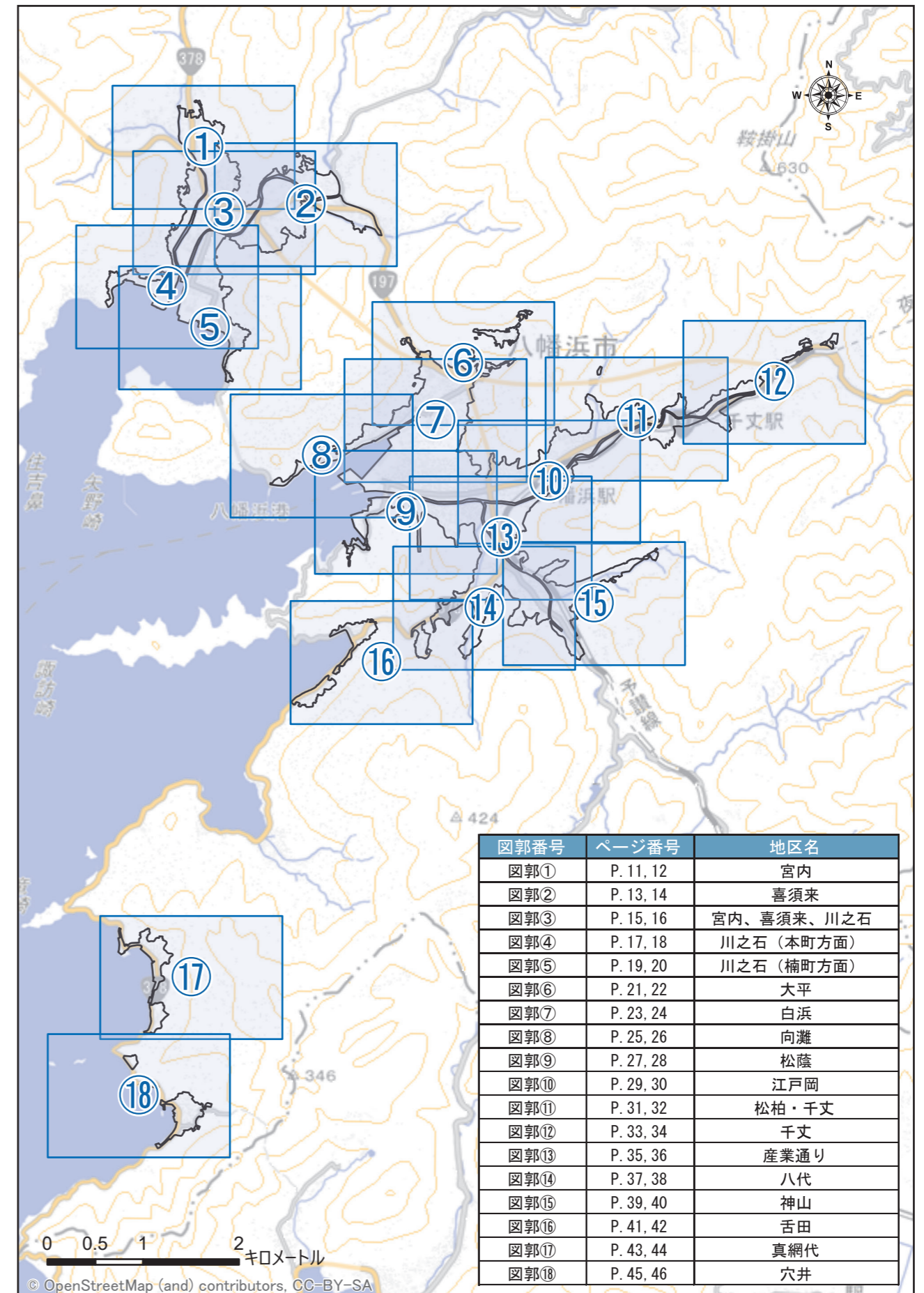
- (1) 作成主体： 八幡浜市
- (2) 指定の根拠法令： 水防法(昭和24年 法律第193号) 第14条の2第2項
- (3) 指定の前提となる降雨： 想定最大規模降雨(ピーク時の1時間に130mmの降雨)
- (4) 対象区域： 八幡浜市公共下水道全体計画区域(雨水)
- (5) 浸水想定手法： 雨水流出解析モデルを用いた内水浸水想定
(管内水理及び氾濫解析または排水能力相当分を除外した雨を降らせた氾濫解析)

■浸水想定に用いた降雨(総降雨量489mm、最大時間雨量130mm/hr)

愛媛県内で大きな被害が発生した平成30年7月豪雨における最大時間雨量38mm/hrを水防法に基づき想定最大規模降雨130mm/hrに置き換えた降雨としています。



内水ハザードマップ索引図



備考：P11～P46の地形図は、「基盤地図情報」(国土地理院)を利用しています。